10月29日722教室 14:40-16:10 先週の復習:

# 1.数と量

# 2. 小数

2.1. 比の理論は、面白いが、連分数展開は、計算には向かない。 (比を最も良く近似する分数などを得るためには有用である。しか し、どこまで良く近似しているかも、見た目ではわからない。) 例えば、有理数であっても、分数に書いて計算すると、掛け算割り 算は良いが、足し算引き算は通分する必要がある。

連分数の逆数となる連分数は、非常に容易である。連分数の掛け算は  $\sqrt{2}\sqrt{3}=\sqrt{6}$  であるが、 $\sqrt{6}$  は以下の数。

$$\sqrt{6} = 2 + (\sqrt{6} - 2) = 2 + \frac{2}{2 + \sqrt{6}}$$

$$= 2 + \frac{1}{1 + \frac{\sqrt{6}}{2}} = 2 + \frac{1}{1 + \frac{2 + \frac{2}{2 + \sqrt{6}}}{2}}$$

$$= 2 + \frac{1}{2 + \frac{1}{2 + \sqrt{6}}}$$

$$= 2 + \frac{1}{2 + \frac{1}{2 + \sqrt{6}}}$$

$$= 2 + \frac{1}{2 + 2 + \frac{1}{2 + \sqrt{6}}}$$

$$= 2 + \frac{1}{2 + 2 + \frac{1}{2 + \sqrt{6}}}$$

$$= 2 + \frac{1}{2 + 2 + \frac{1}{2 + \sqrt{6}}}$$

$$= 2 + \frac{1}{2 + \frac{1}{2 + \sqrt{6}}}$$

$$= 2 + \frac{1}{2 + \frac{1}{2 + \sqrt{6}}}$$

 $\begin{aligned} & \text{ContinuedFraction}[\text{Sqrt}[2] + \text{Sqrt}[3], 100] \\ &= \{3, 6, 1, 5, 7, 1, 1, 4, 1, 38, 43, 1, 3, 2, 1, 1, 1, 1, \\ &2, 4, 1, 4, 5, 1, 5, 1, 7, 22, 2, 5, 1, 1, 2, 1, 1, 31, 2, \\ &1, 1, 3, 1, 44, 1, 89, 1, 8, 5, 2, 5, 1, 1, 4, 2, 8, 1, 17, \\ &1, 4, 3, 4, 3, 2, 1, 1, 4, 2, 1, 9, 1, 15, 13, 1, 39, 20, 2, \\ &152, 3, 2, 4, 1, 30, 1, 3, 1, 2, 1, 2, 16, 3, 24, 1, 9, 1, 172, \\ &3, 1, 1, 1, 1, 27 \} \end{aligned}$ 

2.2. 小数は、位取りと零の発見の後に得られた概念である。 1つの区間を2等分、3等分、5等分、…としていくのは、 平行線を使った作図で求めることができる。 2等分は、垂直2等分線の作図でもできる。 2.3. 小数の有用性は、「大きさが感覚的にわかること(これは小数に慣れた我々だからかもしれない)、近似したときの誤差が容易に表現できることである。

加法、減法、乗法、除法については、繰り上がり、繰り下がり等に 注意すれば容易である。

# 2.4. 問題点。

有理数を表すために無限小数が現れる。(比を表すことには向いていない。)

# 例えば $\frac{1}{7} = 0.142857142857\dots$ = 0.076923076923...周期 $=0.05882352941176470588235294117647\dots$ 周期 = 0.052631578947368421052631578947368421... 周期 $= 0.04347826086956521739130434782608695652173913\dots$ 周期 22 $= 0.03448275862068965517241379310344827586206896551724137931\dots$ 周期 28 $= 0.032258064516129032258064516129\dots$ 周期 15 = 0.027027...周期 = 0.023255813953488372093023255813953488372093...周期 21 = 0.0212765957446808510638297872340425531914893617 $0212765957446808510638297872340425531914893617\dots$ 周期 46 = 0.01886792452830188679245283... 周期 = 0.0169491525423728813559322033898305084745762711864406779661

 $0169491525423728813559322033898305084745762711864406779661\dots$ 

周期 58

 $\frac{1}{61} = 0.016393442622950819672131147540983606557377049180327868852459$   $016393442622950819672131147540983606557377049180327868852459\dots$ 

## 周期 60

 $\frac{1}{67} = 0.014925373134328358208955223880597$ 

014925373134328358208955223880597...

## 周期 33

 $\frac{1}{71} = 0.01408450704225352112676056338028169$ 01408450704225352112676056338028169...

#### 周期 35

 $\frac{1}{73} = 0.01369863013698630\dots$  周期 8

 $\frac{1}{79} = 0.01265822784810126582278481\dots$  周期 13

 $\frac{1}{83} = 0.01204819277108433734939759036144578313253$   $01204819277108433734939759036144578313253\dots$ 

## 周期 41

 $\frac{1}{89} = 0.01123595505617977528089887640449438202247191$  01123595505617977528089887640449438202247191...

## 周期 44

 $\frac{1}{97} = 0.010309278350515463917525773195876288659793814432 \\ 989690721649484536082474226804123711340206185567 \\ 010309278350515463917525773195876288659793814432 \\ 989690721649484536082474226804123711340206185567 \dots$ 

#### 周期 96

これらは素数の逆数。素数を法とする乗法群は、位数(素数 - 1)の 巡回群。

従って、[10倍]が、(素数 - 1)の巡回群でどのような位数かがわかればよい。

2.5. 連分数と小数についてまとめると

有理数は有限連分数として書かれる。

無理数は、無限連分数になってしまうもの(と定義した)。 また、

有理数は循環小数となる。

無理数は循環しない小数となる。

2.6. 循環する連分数は、2次の無理数となる。

2.7. 問題. 比があれば、連分数、小数が得られるのは良いが、連分数、小数は比を表すか?

言い換えると、比に対して、連分数、小数は一通りに定まるか?

$$[0,\infty) \ni x \longmapsto (n_0,n_1,n_2,\ldots,n_k) \quad (n_k \neq 1)$$

または

$$[0,\infty) \ni x \longmapsto (n_0,n_1,n_2,\ldots,n_k\ldots)$$
 小数

$$[0,\infty)\ni x\longmapsto n_0.a_1a_2\ldots a_k$$

$$[0,\infty) \ni x \longmapsto n_0.a_1a_2\ldots a_k\ldots$$

 $a_k \mid \mathbf{t} \mid 0, \ldots, 9.$ 

# 2.8. 問

0.999999... は現れるか?

0.999999... は 0.9, 0.99, 0.999, 0.9999, ...よりも大きく 1 よりも小さい数か?